



大谷地だより

Vol. 91

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 岡田 義明
編集責任者 北星学園大学同窓会事務局
印刷 岩橋印刷株式会社

同窓会定期総会・懇親会を開催しました

2024年10月19日(土)、ニューオータニイン札幌にて、北星学園大学同窓会定期総会と懇親会を行いました。定期総会には28名の同窓生が出席し、2023年度活動報告・決算・監査報告、2024年度活動計画・予算が審議され、すべて承認されました。

懇親会には本学名誉教授の石川恒夫先生をお招きし、同窓生と現旧教職員が133名集まり、再会した恩師や同窓生との楽しいひとときを過ごしました。特に今回は、道内各地で高校教員をされている卒業生の皆様が多く集まってくださり会場はとても盛り上がりました。

また、2024年6月採用の同窓会奨励生3名から奨励生としての抱負が述べられ、長く同窓会活動をしてくださった本部・支部役員の皆様には表彰状と記念品をお贈りしました。その後、各支部からの報告があり、1年ぶりに開催した懇親会は、大変賑やかな雰囲気の中で終了しました。

今年の総会・懇親会は、10月18日(土)にニューオータニイン札幌にて開催予定です。「大谷地だより」や本学ホームページにてご案内・申込受付を行いますので、同窓生の皆様の参加をお待ちしております。

新入会員の方々へ

砂時計 同窓会長 岡田 義明

ご卒業おめでとうございます。また、同窓会へのご入会を心から歓迎いたします。

新入会員の皆さんに、歓迎の言葉を贈るのは、任期内でこれが最後の機会となりますので、心を込めてエールを送ります。

人生を砂時計に喩えたのは、ヴィクトール・エミール・フランクルですが、砂時計の上半分は未来、くびれの部分は現在、下半分は過去を表します。フランクルに倣えば、卒業を迎えた今、学生生活を反映した最後の砂粒が、細いくびれをゆっくりと通って下半分の過去に貯蔵されようとしていると言えます。

実際の砂時計は、上半分が空になればひっくり返して使いますが、人生は一回限り、人生の時間は不可逆的な流れで、ひっくり返すことはできません。未来は変わりうるもので、過去は足跡を記録する固定されたものとフランクルは言っています。

未来の時を表す砂粒は、様々な機会と可能性に満ち、それがくびれを通過するさいに、その人の取組み、追い求める意味や価値で彩られ、下半分の過去へと向かい保管されます。砂粒をどのように彩るかは、一人ひとりの自由選択、意味への意志次第と言えます。

皆さんの砂時計には、自由に彩ることができる一世紀分にも及ぶ砂粒が存在しているようです。どうぞ有意義な人生を送られますよう心から祈念し、歓迎の言葉といたします。

参考：V.E. フランクル『意味への意志』(2002年、春秋社) p.p.67～80

原著 Viktor Emil Frankl *Der Wille zum Sinn* (1972, Verlag Hans Huber)



招待教員の石川恒夫先生



同窓会奨励生の皆様



女子短大卒業の皆様



にぎやかな懇親会の様子



中村学長を囲んで(同期が揃いました)



同窓会三役と教職員の皆様

2025年度 大学・同窓会 行事予定

4月 1日(火)	オリエンテーション(～4月10日)	22日(月)	後期授業開始
4日(金)	入学式	25日(木)	同窓会幹事会
11日(金)	前期授業開始	30日(火)	前期末卒業式
5月 2日(金)	学園創立記念日	10月11日(土)	大学祭(～13日)
17日(土)	第1回オープンキャンパス	18日(土)	第3回オープンキャンパス
24日(土)	パイプオルガンコンサート(チャペル)		同窓会定期総会・懇親会(ニューオータニイン札幌)
6月 7日(土)	体育祭	11月 8日(土)	同窓会東京支部総会・懇親会
12日(木)	同窓会幹事会	13日(木)	同窓会幹事会
7月22日(火)	前期授業終了	22日(土)	同窓会千歳支部総会・懇親会
8月 8日(金)	第2回オープンキャンパス	12月 6日(土)	クリスマスコンサート(チャペル)
23日(土)	同窓会旭川支部総会・懇親会	23日(火)	年内授業最終日
24日(日)	同窓会北見支部総会・懇親会	未定	クリスマス礼拝
30日(土)	同窓会帯広支部総会・懇親会	1月19日(月)	後期授業終了
31日(日)	同窓会釧路支部総会・懇親会	3月11日(水)	卒業礼拝(予定)
9月 1日(月)	大谷地だより第92号発行		卒業式
6日(土)	同窓会函館支部総会・懇親会	13日(金)	大谷地だより第93号発行

※日程は変更になる場合があります。



ワンダーフォーゲル部 OB・OGの皆様

【メールアドレスの登録をお願いします!】

同窓会事務局では、郵便料金の値上がりを受け、大谷地だよりのお届け方法を郵送だけでなく、メール配信することを検討しています。

今後、メールでの受け取りを希望される方は、ぜひこの機会にメールアドレス登録フォームから登録をお願いします。

なお、まだ検討段階ですので、しばらくは郵送のみのお届けとなりますことをご了承願います。



北星学園大学
同窓会

つなぐ

幹事会の事業部会と広報部会が協力し、同窓生へのインタビューをリレー形式でつないでいく企画を立ち上げました。北星での学生時代の懐かしさや当時の仲間を思い出し、同窓会への応援団が増えることを願っています。

同窓生へインタビュー

インタビュー：幹事 若原志津子（1998 年 3 月経済学部経営情報学科卒業）

第 7 弾
INTERVIEW

浅沼恵衣さん（2016 年 3 月文学部心理・応用コミュニケーション学科卒業）
ANA ウイングス 客室乗務職

Q1. 今の仕事とそれを目指したきっかけを教えてください。

浅沼さん ANA ウイングスで客室乗務員（CA）をしています。5歳で初めて飛行機に乗ったときから CA になりたいと思っていました。「あんなキレイなお姉さんになりたいでしょ」という母の洗脳もあったと思いますが（笑）。また、松嶋菜々子さんが CA をやっていたドラマの影響もあります。とにかく CA になるにはどうすればいいかを考えて、進学先も選んでいました。現役では4年制大学に入れず北星学園大学短期大学部 英文学科に進みました。CA への道はかなり倍率が高いため、短大のプログラムでカナダへ3カ月ほど行き、編入を目指して勉強をしていました。英文学科か心理・応用コミュニケーション学科か迷ったのですが、「心コミで学びたい」と思う先生たちと出会い心コミを選択し編入しました。

Q2. 憧れの仕事に就いてみてどうでしたか？

浅沼さん 憧れが強すぎた分、最初に理想と現実のギャップを痛感しました。華やかに思われる仕事ですが、実際は体力勝負で、フライトによるので規則正しい生活を送るのが難しく、土日は基本的に仕事でした。乗客の皆さんの命をお預かりして空を飛ぶのが仕事のため入社して2カ月はそこを徹底的に教えていただきました。きつくて長く続けられないかと思うときもありましたが、8年経った今はこの生活にも慣れてきました。常にお客さまに満足していただけるよう気を付けてはいますが、こちらが思ってもみないことでお叱りを受けることもあり、いろいろなお客さまがいらっしゃることを学ばせていただいています。また、周りには一流の CA の先輩がたくさんいるので気遣いや接し方なども日々勉強になっています。この仕事に就いてから、人として成長させてもらっていると思います。もともとポジティブなので、つらいことがあってもオフの日に体を動かしたり、食事に出かけたりしてリフレッシュしています。

Q3. 仕事でやりがいや喜びを感じるときは？

浅沼さん お客さまにとっては当たり前と思われることでも、やはり「ありがとう」と言っていただけると嬉しいですね。また、自分なりに心を込めてさせていただいた気配りをお客さまが気付いてくださったときは、伝わってよかったなと思います。

Q4. 北星学園大学での思い出を教えてください。

浅沼さん 短大のときは編入に向けて勉強ばかりしていましたが、大学ではスポーツ同好会にも入って楽しい大学生活を送っていました。大学と友達が本当に好きすぎて、授業がなくても大学に行っていたくらいです（笑）。大学の思い出で言うと、尊敬しているゼミの大島寿美子先生でしょうか。大島先生にはとてもお世話になりました。私は話す力はあっても書く力がなくて、大島先生に指導していただいたおかげでエントリーシートも書くことができました。

Q5. 在学生と同窓生へのメッセージをお願いします。

浅沼さん 在学生の皆さんへ：もう少し勉強しておけば…という部分もありますが、もっと遊んでおけば良かったかなとも思います。サークルやイベントなど大学でしか体験できないことは楽しんで方がいいと思います。あと、大学の友達は一生の友になると思うので、友達を大事にしてください。
同窓生の皆さんへ：北星へ行って本当に良かったと思っています。いろいろなところで卒業生が活躍していると思いますが、一緒にこれからもそれぞれの場所で頑張っていきたいです。



第 8 弾
INTERVIEW

宮本静香さん（2016 年 3 月文学部英文学科卒業）
英会話講師

Q1. 今の仕事とそれまでのことを教えてください。

宮本さん 今は、「Shizuka 英会話スクール」を運営しています。英語に興味を持ったのは、中学生のときです。先生がすごくおもしろかったのと、当時近所に住んでいた外国人の方に英語で話しかけたら、「英語上手だね」と言われ、「わあ、通じた！嬉しい」と思ったのがきっかけで英語が好きになりました。高校のときは、やりたい夢は特になかったのですが、とにかく英語を使った職業に就けたらいいなと思い北星学園大学短期大学部 英文学科に進学し、北星学園大学 英文学科に編入しました。卒業後は大手航空会社の CA になったのですが、5年ほどで退職。2022 年に「旅する英会話講師」という形で大人のための初心者専門の英会話スクールを起業しました。

Q2. どのような思いでスクールを始めたのですか？

宮本さん 私自身、英語を学んだことで人生の選択肢が増え、人生が豊かになったと実感しているので、英語を学びたいと思う方の人生を変えるサポートをできたらと思い、スクールを立ち上げました。最初は集客に苦労しましたが、SNS を駆使してコツコツやっているうちに、おかげさまで今は満席状態です。オンラインのマンツーマンコース、3カ月間びっちりサポートに入る英語コーチング、グループレッソンの3本柱で展開しています。生徒さんは皆さん初心者ですが、18歳から60代まで幅広く、

Q3. 仕事でやりがいや喜びを感じるときは？

宮本さん 生徒さんの英語力が伸びたときはやはり嬉しいですね。あとは、「先生のおかげで英語が好きになりました」「先生だから続けられます」「先生の気遣いが好き」といったフィードバックをもらうのも嬉しいですね。自分にしかできないことができているのだなと思うと喜びを感じますね。

Q4. 北星学園大学での思い出を教えてください。

宮本さん 一番嬉しかったのは念願の航空会社に入れたときでしょうか。CA になりたくてたくさんの航空会社を受けて、でもなかなか受からなくて…。就職支援課の方たちにずっと支えてもらいながら、最後の最後に決まったので印象に残っています。あとは、大学時代に3回短期留学したことも思い出深いです。フィリピン、ニューヨーク、バリ島に行ったのですが、この留学がきっかけで海外や旅行が好きになりました。CA 時代も月1で海外旅行へ行っていました。

Q5. 在学生と同窓生へのメッセージをお願いします。

宮本さん 在学生の皆さんへ：やはり若いうちに英語を身に付けておく让世界の人とコミュニケーションが取れるので、より人生が豊かになると思います。正しい学習方法で身に付けた英語は資産だと思うので、諦めないで英語を習得してください。
同窓生の皆さんへ：皆さんそれぞれの場所で活躍されていると思います。もし、社会人になってから仕事で英語が必要になったという方がいたら、ぜひ「Shizuka 英会話スクール」へ。



北星学園大学同窓会設立60周年記念講演会第2弾報告

「夢と感動を支えるものとして」 講師：西村雄一氏

11月23日（土）、同窓会設立60周年記念講演会の第2弾を開催しました。講師にサッカープロフェッショナルレフリーとしてご活躍の西村雄一氏をお迎えし、「夢と感動を支える者として」と題してお話いただきました。会場にはスポーツウェアを着た方々も多くいらして、サッカー界のレジェンドとしての西村氏の高い人気が見えました。

講演の最初に西村氏から、「私にとって好きなことはサッカーですが、皆さんにとって自分の好きなことはそれぞれだと思います。その好きなことにぜひ置き換えて、私のサッカーで得た経験を聞いてください」と前置きがありました。自分の好きなことは、自信を持ってやり遂げ、成功するための必要な準備をしてほしいと豊富な体験談を交えながらお話していただきました。また、サッカーについて話す際には多くの試合映像を流してくださり、サッカーにあまり詳しくない方々にもわかりやすく説明していただきました。

プロフェッショナルレフリーとして長く活躍された西村氏がレフリーの必要な能力として、高度な身体的能力、予測力、判断力などについて説明していただきました。加えて、コミュニケーション力には「誠意ある行動」と「正直な心」が大切であり、それは世界のどこの国でも共通だったとお話しされていたのがとても印象的でした。

2024 年、同窓会では設立 60 周年記念行事として2つの講演会を開催いたしました。多くの方々に参加していただき感謝しております。素晴らしい講演から、たくさんの学びと明日を生きる勇気をいただきました。ありがとうございました。

なお、2024 シーズンをもって西村氏はトップリーグ担当審判員から勇退されるとのことです。





HOKUSEI 支部活動報告

旭川支部 今年度の旭川支部活動について

昨年8月24日、旭川市内、花月会館料亭かぶとにて、赤塚同窓会副会長、岩本副学長をはじめ、多くの大学教職員の皆様をお迎えし、設立から42回目となる旭川支部総会・懇親会を無事に終えることができました。

当支部は、1982年、旭川市及び近郊に在住する当時の卒業生が中心となり、大学初同窓会支部として設立されました。その後、大学の発展と共に卒業生の数も増え、現在では1,250名を超える卒業生が支部会員として登録しています。

これまで同様、当支部が発行してきた支部同窓会誌「サマリタン」の発行では、支部会員の近況、そして岡田同窓会長、中村学長から本誌にご寄稿をいただき、支部会員の皆様に、郵送にて本支部の活動や総会・懇親会の案内をしています。

今後も、同窓会本部・大学からのご支援をいただきながら、上川を中心に、北は宗谷、西は留萌、南は空知まで、広いエリアに渡って点在する卒業生の皆さんと母校のつながり深め、集めたいと考えております。そして大谷地キャンパス、中央区の旧短大キャンパスに思いをはせながら、結束を強めることができるよう、世代を超えた楽しい支部活動を目指してまいります。ご支援ご協力をよろしくお願い致します。



北見支部 今年度の北見支部活動について



当支部は、昭和62年12月に3番目の同窓会支部として設立し、35年を超える活動を続けています。

2024年の総会・懇親会は、8月25日(日)に、北見市内において、同窓会

支部会員18名、大学からは中村学長、岩本副学長をはじめ教職員、事務職員10名と同窓会本部からは岡田会長、赤塚副会長などをお招きして開催しました。

今後も、同窓会本部・大学からのご支援をいただきながら、知床から雄武までの長く広いオホーツクに点在する『北星』の絆を、年に1度太い線として描けるよう、世代を超えた楽しい支部活動を目指してまいります。これからもご支援とご協力をよろしくお願い致します。

2025年の北見支部同窓会総会・懇親会は、8月24日(日)を予定しています。オホーツク管内在住の同窓生の皆さん、同窓生の参加料は、たったの1,000円です!管内遠方からの参加者には交通費・宿泊費の一部をお支払いします。年に1度、北見のグルメを味わいながら、学生時代を振り返りに遊びに来てください。(同窓会総会・懇親会のご案内ハガキが届かない場合はご連絡願います。)

函館支部 2024年函館支部の活動

2024年の函館支部の総会・懇親会は、9月7日に開催し、同窓生20名、同窓会本部より千葉副会長はじめ4名の役員、大学より中村学長をはじめ10名の教職員の皆さんに参加していただきました。

今年は初めて参加するという同窓生(5人)や久しぶりに参加するという同窓生(3人)、遠くは盛岡から参加した同窓生、そしていつもの顔の同窓生が集いました。

去年は会場の都合でできなかったサクスホーンアンサンブルの生演奏も聞きながら和やかな雰囲気の中で進行しました。

サクスホーンアンサンブルの方々のご厚意で礼拝の讃美歌の伴奏もしていただき、とても新鮮な感じで、歌った参加者もその音色に感動していました。

今年もビンゴゲームとその景品と引き換えに行う参加者全員の一言スピーチで大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

函館支部もあと3年後には支部設立40周年を迎えます。そこにに向けてたくさんの同窓生が集い40周年の記念行事を行えるよう、毎年工夫していこうと思っています。

本部同窓会役員や事務局のおかげで今年初めてという同窓生が5人も参加していただき、支部の役員も大変うれしく思っています。



今後も一人でも多くの同窓生に参加してもらえよう工夫して、函館支部を盛り上げていこうという思いを一つにして終了しました。

各支部総会・懇親会のお知らせ

各支部にて総会・懇親会を開催いたします。お近くにお住まいの方はぜひお越しください。日程が近づきましたら大学ホームページにてご確認ください。

支部	日にち	会場
旭川支部	8月23日(土)	旭川市内
北見支部	8月24日(日)	北見市内
帯広支部	8月30日(土)	帯広市内
釧路支部	8月31日(日)	釧路市内
函館支部	9月6日(土)	函館市内
東京支部	11月8日(土)	東京都内
千歳支部	11月22日(土)	千歳市内

同窓会各支部連絡先

- 旭川支部(1983年発足) 支部長 西岡 将晴 090-7648-1997 kembuchi2000@yahoo.co.jp
- 帯広支部(1985年発足) 支部長 成田 啓介 0155-56-4706 (特養札内寮) mansei@cameo.plala.or.jp
- 北見支部(1987年発足) 支部長 結城 亨 連絡先は事務局長 境達也 090-3893-4847 tatsuya.sakai@city.kitami.lg.jp
- 東京支部(1988年発足) 支部長 遠田 嘉憲 04-2949-6726 ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 函館支部(1988年発足) 支部長 畑中 博史 090-3899-2485 hokusei.hakodatesibu.1988@gmail.com
- 釧路支部(1989年発足) 支部長 角 隆史 0154-65-9812/090-3399-1054 kaku4744@msn.com
- 千歳支部(1996年発足) 支部長 北村 昌樹 080-5727-9197 masaki9197@gmail.com

帯広支部 帯広支部40周年記念祝賀会

2024年9月1日(日)帯広支部定期総会兼設立40周年記念祝賀会を帯広市内の北海道ホテルで行いました。

同窓会本部より岡田義明会長をはじめ同窓会本部役員、大学からは中村和彦学長をはじめ教職員、各支部長(役員含む)、支部会員など51名の参加となりました。

10年に1回の大切で節目の祝賀会とあって、4月から数回の役員会を行いライングループを使い、準備をしてきました。同窓生や来賓の方々に楽しい時間を過ごしていただき、「帯広支部の同窓会良かったなあ、また行きたいなあ」と足を向けてもらおうと、役員が奮闘し、頑張ってくれたことに感謝します。

40周年記念祝賀会では、帯広市内のピアニスト佐々木千里さんのピアノ演奏で讃美歌や北星学園大学学歌を歌い、成田支部長の挨拶、岡田会長、中村学長の祝辞、



赤塚副会長の乾杯、参加者はピアノ演奏を聴きながら、十勝の食材をふんだんに使用した料理を食べながら歓談しました。恒例の十勝の農産物等があたるくじ引きを行い、楽しんでいただけたと思います。40周年記念祝賀会、無事に終わることができてほっとしています。記念祝賀会ではない年でも多数のご参加お待ちしております。

東京支部 東京支部活動報告

東京支部は、昨年11月9日に、第36回総会・懇親会を開催致しました。参加者は28名でした。大学からは中村学長、山本事務局長、同窓会本部からは岡田会長、清水副会長の方々にご参加頂きました。改めて感謝申し上げます。

懇親会では、参加された支部会員一人一人から近況がご報告され、和やかな懇親会となりました。

また、九州国際大学同窓会橘会関東支部の鈴木支部長様より、とても心のこもった祝電を頂きました。鈴木支部長とは、支部総会・懇親会を同じ私学会館アルカディアで開催していること、また北星学園大学出身で、九州国際大学で勤務されていた中野洋一先生のご紹介でこの間交流を深めて来ました。今後とも交流を深めて行きたいと思っております。

懇親会でとても印象に残っているのは、中村学長のご紹介で2011年社福卒の二人の若い卒業生にご参加頂いたことです。お二人と中村学長が親密な様子で話し込まれていたことがとても印象的でした。やはり同窓会は、卒業生と恩師との貴重な交流の場なんだなあ強く印象づけられました。

東京支部幹事

会は、年4回～5回開催しています。また、会報「ライラック」を年1回発行しております。

2027年には東京支部創立40周年を迎えることになります。今年度から準備を進めていく所存です。



釧路支部 今年も総会・懇親会を開催!



当支部は、2024年8月31日(土)、総会・懇親会を市内のホットソースにて開催し、同窓会本部より赤塚副会長、森谷幹事、大学より中村学長をはじめ、大学教職員をお招きしました。初参加も含めて、多くの支部会員も参加しました。当日は地元の海や山の幸に舌鼓を打ちながら、年1回の再会に会員同士の他、同窓会本部役員、大学教職員とも大いに交流を深め、恒例のテーブルスピーチでは、近況や大学時代の昔話に花を咲かせていました。

来年度の総会・懇親会も同時期に開催を予定しており、現在、参加者を大募集中です!アットホームな当支部の活動に是非ともご参加をお待ちしております。

この度、ご卒業される皆さん、あるいはご友人やお知り合いで赴任地が釧路根室地方という方がいらっしゃいましたら、支部長の角までご連絡をください。

千歳支部 みんなで千歳支部を盛り上げよう!

千歳支部では、会員相互の親睦を深めるため、毎年恒例の新春ボーリング大会をはじめ、春には陽気に包まれながらの魚介類&焼肉大懇親会を開催しました。

また、夏には北星学園大学YOSAKOI「廻」の激励会を実施するなど現役学生との交流・親交も深めています。

毎年作成している支部紹介&新会員募集動画については、今年度、支部懇親会のほか「大学同窓会設立60周年記念事業 合同卒業記念祝賀会」で上映したところ、参加者からは「楽しそうなので、ぜひ参加したい」などと好評でした。

このほか、新会員の支部加入促進を促すため、千歳支部高級スポーツタオルを制作し、支部会員のほか、同窓会本部関係者・支部長、大学関係者、YOSAKOI「廻」の学生などに配布しています。

今年は支部設立30周年を迎えます。より楽しい企画を計画していますので、仲間を募ってぜひご参加ください。



プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサートも回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。
これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えておりますので、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いします。

パイプオルガンコンサート

第25代札幌キタラ専属オルガニストのファニー・クソーさんをお迎えします。どうぞお楽しみください。



プロフィール

フランス生まれ。パリ13区モーリス・ラヴェル音楽院にてピアノをカリーヌ・ザリフィアンに、伴奏法をクロード・コレに師事し、パリ地方音楽院ではオルガンを学び、いずれも音楽研究資格を取得。サン・モール・デ・フォッセ地方音楽院ではピアノをクリストフ・ブクジャン、オルガンをエリック・ルブランに師事し、2017年、最優秀の成績で修了。リヨン国立高等音楽院ではフランソワ・エスピナス、リズベズ・シュルンベルジェに師事し、19年、オリヴィエ・メシアン国際コンクールで第4位及びオリヴィエ・メシアン作品最優秀演奏賞を受賞。その後、リヨン国立高等音楽院で22年にオルガン修士、24年に教授法修士課程を修了。2024年9月、第25代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

演奏予定曲目

ヴァレリー・オーベルタン：星のためのソナチネ
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：きらきら星変奏曲
ルイ・ヴィエルヌ：幻想的小品集 宵の明星と太陽への賛歌
J.S. バッハ：パッサカリアとフーガ BWV582. ほか

Towards the North Star 北の星に向かって

日時：2025年5月24日(土) 午後2時から
会場：本学チャペル

コンサートの申込方法について

パイプオルガンコンサート

申込期間:5月12日(月)~5月22日(木)
定員になり次第締め切らせていただきます。

「パイプオルガンコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込みフォーム」、電話、E-mailでお申込みください。事前の整理券等は発行しませんので、お申込みされた方は当日直接会場へお越しください。

申込み・問合せ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731
メール: dousoukai@hokusei.ac.jp

お願い

未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

コンサート報告

オータムコンサート 錦秋のウィーン

去る11月17日(日)午後2時より「錦秋のウィーン」と題し、札幌交響楽団第一コンサートマスター田島高広さん、元首席ホルン奏者山田圭祐さん、ピアニスト田島ゆみさんをお迎えし、オータムコンサートを開催しました。

軽快で麗しいモーツァルト「ホルン、ヴァイオリン、ピアノのためのトリオ変ホ長調」で始まり、美しい調べで魅了されたベートーヴェン「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ変ホ長調Op. 12-3」が演奏されました。驚くほど透明なヴァイオリン、世界を包み込むようなピアノ、遠くまで響く芳醇なホルンの音色がチャペルを包み込みました。



休憩をはさんでブラームス「ホルン、ヴァイオリン、ピアノのためのトリオ変長調Op. 40」では、静けさと高なりのコントラストが美しい演奏でした。アンコールのケクラン「4つの小品」より「第2番」は愛おしく繊細な作品で心が洗われるようでした。

アンケートでは「甘美なヴァイオリンの音色、ぶれない重厚なホルン、とってもぜいたくな雨の屋下がりでした」「すばらしい演奏会でした。ピアノ、ヴァイオリン、ホルンという組み合わせの演奏はなかなか聴く機会がなく、今回は聴けて幸せでした」「ブラームスがあまりに素晴らしかったです。精巧で端正なアンサンブル、豊かな響き、美しいハーモニーすべてに引きこまれました」などたくさん喜びの声が届きました。

あいにくの雨や地下鉄のトラブルにもかかわらず、多くの方々においでいただき、心に刻まれるコンサートとなりました。

2023年度(2023年10月~2024年9月) 収支決算

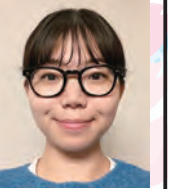
【通常会計】<収入の部>					2024.10.10 幹事会 (単位:円) 2024.10.19 総会				
費	目	2023年度予算	2023年度決算	差異(予算-決算)	備考	2023年度予算	2023年度決算	差異(予算-決算)	備考
前年度繰越金		9,552,326	9,552,326	0	預金(北洋銀行 9,106,264)、現金(45,562)、金券(400,500)	9,552,326	9,552,326	0	預金(北洋銀行 9,106,264)、現金(45,562)、金券(400,500)
同窓会費		19,240,000	19,260,000	20,000	@20,000*962名(2023.10.2入金)、2023年度大学一年生 未納分(20,000)	19,240,000	19,260,000	20,000	@20,000*978名(2024.10.1入金)
総会懇親会費収入		200,000	371,000	171,000	2023.10.21懇親会費、ご祝儀	200,000	371,000	171,000	2024.10.19懇親会費、ご祝儀等
プロジェクト		20,000	57,849	37,849	コンサート募金(12月・5月)	20,000	57,849	37,849	コンサート募金
利息等		0	21,460	21,460	ゆうちょ定期預金解約の為、現金で受取	0	21,460	21,460	ゆうちょ定期預金解約の為、現金で受取
雑収入		300,000	294,000	△ 6,000	合同卒業記念祝賀会費	300,000	294,000	△ 6,000	合同卒業記念祝賀会費
活動資金積立から繰入れ収入		6,100,000	5,000,000	△ 1,100,000	60周年記念事業財源として 5,000,000円繰り入れ	6,100,000	5,000,000	△ 1,100,000	60周年記念事業財源として 5,000,000円繰り入れ
<収入計>		35,412,326	34,556,635	△ 855,691		35,412,326	34,556,635	△ 855,691	
<支出の部>									
費	目	2023年度予算	2023年度決算	差異(予算-決算)	備考	2023年度予算	2023年度決算	差異(予算-決算)	備考
I. 事務費		4,543,000	3,816,024	621,211		4,543,000	3,816,024	621,211	
1. 幹事会費		1,199,000	851,279	347,721	年3回 会議費(192,000)、交通費(612,990)、弁当代等(46,289)	1,199,000	851,279	347,721	年3回 会議費(192,000)、交通費(612,990)、弁当代等(46,289)
2. 三役会費		220,000	64,980	155,020	年4回 会議費(36,000)、交通費(28,980)	220,000	64,980	155,020	年4回 会議費(36,000)、交通費(28,980)
3. 部会費		814,000	611,390	202,610	総務組織部会 5回、事業部会 12回、広報部会 1回、支部長部会 2回(1回は幹事会同日)、会議費(210,000) 交通費(401,390) 他	814,000	611,390	202,610	総務組織部会 5回、事業部会 12回、広報部会 1回、支部長部会 2回(1回は幹事会同日)、会議費(210,000) 交通費(401,390) 他
4. その他会議費		133,000	441,010	△ 308,010	大学と同窓会との懇談会(121,950)、幹事 6月懇親会補助(88,000)、北海道大学との情報交換会(40,000)、慶幸費(9,680) 会計監査(6,880)、同窓生理事後援会費(20,000)、北海道大学手土産(2,500)、本部から支部懇親会派遣(152,000)	133,000	441,010	△ 308,010	大学と同窓会との懇談会(130,000)、幹事懇親会補助(90,000)、慶幸費(10,000) 会計監査(7,000)、同窓生理事後援会費(20,000)、本部から支部懇親会派遣(156,000) 他
5. その他交通費		1,027,000	803,130	223,870	本部から支部懇親会派遣(772,790)、卒業式(10,340)、北海道同窓会情報交換会(9,940)、大学との懇談会(4,060)、会計監査(4,000)、奨励金授与式(2,000)	1,027,000	803,130	223,870	本部から支部懇親会派遣(730,000)、卒業式(11,000)、会計監査(4,000) 他
6. 通信費		138,000	58,562	79,438	郵送料・切手(21,344)、慶幸電報(3,520)、料金受取人払がき代(33,698)	138,000	58,562	79,438	郵送料・切手(25,000)、慶幸電報(10,000)、料金受取人払がき代(44,000) 他
7. 事務経費		200,000	193,992	6,008	リングラフ・コピー機印刷代(96,538)、振込手数料(63,140)、残高証明書発行手数料(3,300)、ビジネスステイメント手数料(15,840)、消耗品、備品 他	200,000	193,992	6,008	リングラフ・コピー機印刷代(80,000)、振込手数料(60,000)、残高証明書発行手数料(4,000)、ビジネスステイメント手数料(16,000)、消耗品、備品 他
8. 業務委託費		792,000	791,681	319	名簿整備・保管料	792,000	791,681	319	名簿整備・保管料
9. 雑費		20,000	0	20,000	同窓会費返還	20,000	0	20,000	同窓会費返還
II. 事業費		27,441,000	25,089,542	2,351,458		27,441,000	25,089,542	2,351,458	
① 同窓会事業費		14,541,000	14,623,008	△ 82,008		14,541,000	14,623,008	△ 82,008	
1. 総会・懇親会費		1,343,000	1,710,970	△ 367,970	10月会場費(1,265,760)、支部から派遣(314,980)、幹事謝金・交通費(86,940)、招待教員など交通費(21,290)、当日記録用撮影料(22,000)	1,343,000	1,710,970	△ 367,970	会場費等(1,266,000)、支部から本部派遣(315,000)、幹事謝金・交通費(87,000)、招待教員など交通費(22,000)、当日記録用撮影料(22,000)
2. 各支部補助費		4,607,000	4,607,000	0	各支部補助(4,407,000)、周年事業費(帯広 200,000)	4,607,000	4,607,000	0	各支部補助(4,407,000)、職域等支部補助(◎ 50,000*10支部)、周年事業費(千歳 200,000)
3. 会報発行費		7,497,000	7,684,454	△ 187,454	印刷代(1,714,020)、郵送料(3,584,547)、宛名印刷・封入(804,130)、目録シール(646,800)、封筒印刷(535,007)、ハガキ印刷(165,211)、寄稿者謝礼(12,000)、新聞同窓会セット封入代(38,115)、インタビュー文字起こし(162,624)、進行管理費(22,000)	7,497,000	7,684,454	△ 187,454	印刷代(1,720,000)、郵送料(3,590,000)、宛名印刷・封入(810,000)、目録シール(650,000)、封筒印刷(535,000)、ハガキ印刷(165,000)、寄稿者謝礼(12,000)、新聞同窓会セット封入代(38,000)、インタビュー文字起こし(150,000)、他
4. プロジェクト等活動費		696,000	460,584	235,416	コンサートに係る会議費・交通費、消耗品、印刷費、通信費 他	696,000	460,584	235,416	コンサートに係る会議費・交通費、消耗品、印刷費、通信費 他
5. その他の事業費		398,000	160,000	238,000	北星英研補助(150,000)、サークルOB会通信費(0)、短大OG会作業交通費(10,000)、ホームカミングデー(0)	398,000	160,000	238,000	北星英研補助(150,000)、サークルOB会通信費(0)、ホームカミングデー(0)、短大OG会作業(10,000) 他
② 大学・学園への補助事業費		1,120,000	1,085,500	34,500		1,120,000	1,085,500	34,500	
6. 同窓会文庫費		400,000	400,000	0	寄贈図書	400,000	400,000	0	寄贈図書
7. 大学への補助		220,000	185,500	34,500	学祭補助(100,000)、体育祭補助(85,500)	220,000	185,500	34,500	学祭補助(100,000)、体育祭補助(100,000)
8. 学園への補助		500,000	500,000	0	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)	500,000	500,000	0	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)
③ 在学生への補助事業費		1,510,000	808,450	701,550		1,510,000	808,450	701,550	
9. 派遣留学生への補助		1,000,000	500,000	500,000	派遣留学生への支援(◎ 50,000*10名= 500,000)	1,000,000	500,000	500,000	派遣留学生への支援(◎ 50,000*15名=750,000)
10. 奨励費		510,000	308,450	201,550	同窓会奨励費(◎ 100,000*3名)、奨励金授与式・集い(8,450)	510,000	308,450	201,550	同窓会奨励費(◎ 100,000*5名)、奨励金授与式・集い(10,000)
④ 記念品事業費		3,630,000	3,493,500	136,500		3,630,000	3,493,500	136,500	
11. 卒業生記念品費		3,430,000	3,383,500	46,500	図書カード3,000円*1,120枚、台紙代等	3,430,000	3,383,500	46,500	図書カード3,000円*1,100枚、印刷代、台紙代
12. 退職者記念品費		100,000	50,000	50,000	大学教職員退職者記念品(◎ 10,000*5名)	100,000	50,000	50,000	退職者記念品(◎ 10,000*10名)
13. 永年表彰記念品費		100,000	60,000	40,000	同窓会役員永年表彰記念品(◎ 10,000*6名)	100,000	60,000	40,000	永年表彰記念(◎ 10,000*10名)
⑤ 各部会の事業費		6,640,000	5,079,084	1,560,916		6,640,000	5,079,084	1,560,916	
14. 総務・組織部会費		0	0	0	つなぐインタビュー(69,000)、同窓会創立60周年記念事業【懇親会記念品(271,000)、講演会(861,108)、座談会(0)、合同卒業記念祝賀会(3,718,536)】	0	0	0	つなぐインタビュー(120,000)、60周年記念講演会(500,000)
15. 事業部会費		6,220,000	4,919,644	1,300,356	大学HP内同窓会ページ修正(0)、ラジオ放送収録(21,440)	6,220,000	4,919,644	1,300,356	大学ホームページ内同窓会ページ修正
16. 広報部会費		242,000	21,440	220,560	大学祭同窓会ブース設置	242,000	21,440	220,560	大学祭同窓会ブース設置
17. 支部長部会費		178,000	138,000	40,000	1事務費+II事業費の4%	178,000	138,000	40,000	1事務費+II事業費の3%
III. 予備費		1,279,360	0	1,279,360	収入・(1事務費+II事業費+III予備費) 預金(北洋銀行 5,281,262)、現金(130,807)、金券(239,000)	1,279,360	0	1,279,360	収入・(1事務費+II事業費+III予備費)
IV. 次年度繰越金		2,148,966	5,651,069	△ 3,502,103		2,148,966	5,651,069	△ 3,502,103	
<支出計>		35,412,326	34,556,635	855,691		35,412,326	34,556,635	855,691	

【活動資金積立会計】					(単位:円)				
	2022年度末(2023.9) 決算額	2023年度利息	2023年度積立額	2023年度取崩額	2023年度末(2024.9) 決算額				
合計	76,246,526	995	5,000,000	10,000,000	71,247,521				

2024年度(2024年10月~2025年9月) 会計予算

【通常会計】<収入の部>					2024.10.10 幹事会 (単位:円) 2024.10.19 総会				
費	目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考
前年度繰越金		9,552,326	9,552,326	9,552,326	預金(北洋銀行 5,281,262)、現金(130,807)、金券(239,000)	9,552,326	9,552,326	9,552,326	預金(北洋銀行 5,281,262)、現金(130,807)、金券(239,000)
同窓会費		19,240,000	19,260,000	19,560,000	@20,000*978名(2024.10.1入金)	19,240,000	19,260,000	19,560,000	@20,000*978名(2024.10.1入金)
総会懇親会費収入		200,000	371,000	350,000	2024.10.19懇親会費、ご祝儀等	200,000	371,000	350,000	2024.10.19懇親会費、ご祝儀等
プロジェクト		20,000	57,849	50,000	コンサート募金	20,000	57,849	50,000	コンサート募金
利息等		0	21,460	0		0	21,460	0	
雑収入		300,000	294,000	0		300,000	294,000	0	
活動資金積立から繰入れ収入		6,100,000	5,000,000	2,000,000	2,000,000円繰入	6,100,000	5,000,000	2,000,000	2,000,000円繰入
<収入計>		35,412,326	34,556,635	27,611,069		35,412,326	34,556,635	27,611,069	
<支出の部>									
費	目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	備考
I. 事務費		4,543,000	3,816,024	4,181,000		4,543,000	3,816,024	4,181,000	
1. 幹事会費		1,199,000	851,279	1,027,000	年3回 会議費(243,000)、交通費(731,660)、弁当(52,200)	1,199,000	851,279	1,027,000	年3回 会議費(243,000)、交通費(731,660)、弁当(52,200)
2. 三役会費		220,000	64,980	110,000	年5回 会議費(60,000)、交通費(49,700)	220,000	64,980	110,000	年5回 会議費(60,000)、交通費(49,700)
3. 部会費		814,000	611,390	728,000	支部長部会年2回(うち1回は幹事会同日開催)、その他の部会年5回、会議費(324,000) 交通費(378,240) 会場費(25,000) 他	814,000	611,390	728,000	支部長部会年2回(うち1回は幹事会同日開催)、その他の部会年5回、会議費(324,000) 交通費(378,240) 会場費(25,000) 他
4. その他会議費		133,000	441,010	441,000	大学と同窓会との懇談会(130,000)、幹事懇親会補助(90,000)、慶幸費(10,000) 会計監査(7,000)、同窓生理事後援会費(20,000)、本部から支部懇親会派遣(156,000) 他	133,000	441,010	441,000	大学と同窓会との懇談会(130,000)、幹事懇親会補助(90,000)、慶幸費(10,000) 会計監査(7,000)、同窓生理事後援会費(20,000)、本部から支部懇親会派遣(156,000) 他
5. その他交通費		1,027,000	803,130	804,000	本部から支部懇親会派遣(730,000)、卒業式(11,000)、会計監査(4,000) 他	1,027,000	803,130	804,000	本部から支部懇親会派遣(730,000)、卒業式(11,000)、会計監査(4,000) 他
6. 通信費		138,000	58,562	79,000	郵送料・切手(25,000)、慶幸電報(10,000)、料金受取人払がき代(44,000) 他	138,000	58,562	79,000	郵送料・切手(25,000)、慶幸電報(10,00

卒業生から一言



北星で得た学び
文学部 英文学科
杉山ひなこ

戦する「こと」を自分の中で大切にしたい。私は大学に入学してから4年間一挑
ました。入学当初、知らない土地での新生活に
加え、新型コロナウイルスの影響で大学
にも行けない日々が続き、自分は今な
ぜここにいます。しかしいつたか、不安
な気持ちです。しかし、このように日々
覚えていきます。それが、このように日々
からやりたいことができる環境は決まっ
ていたり前ではなかったことを学び、今
置かれていない環境と時間を無駄にしな
いように前にチャンスがあるのになん
事も挑戦してみようという気持ちで大学
生活を送るようになりました。
在学生と留学生を繋ぐ国際フロンジ学
生チームHUIのメンバーとしての活
動、イベントへの参加、教職課程の履修や
アルバイトなど、すべてが自分の成長へ
とつながった貴重な経験であり、今後の
人生において糧となる大きな学びとなり
ました。

北星学園大学で過ごした4年間は長い
ようであつたという間に過ぎ、とても充実
した日々となりました。ここで出会った私
の世界を広げてくださったすべての皆
様、そして4年間学びの機会を与えて心
続けてくれた家族に、この場を借りて心
より感謝申し上げます。



「反省」
経済学部 経営情報学科
田中 寛

大学生生活の振り返りを記す今、自分で掲げた僅かな目標を達成した一方で、物足りなさによる自責の念が胸を刺します。奨学生を4年間維持し、世界一周を果たし、TOEICで940点を取得し、設立2年目の事業を黒字化できた一方、成し遂げられなかった多くの目標が残るだけでなく、主席として卒業することも、深い知識を身につけることも、英語をネイティブのように操ることも、社会に役立つビジネスを確立させることもできませんでした。与えられた4年間という貴重な時間を考慮すれば、あまりにも不十分な結末であり、多くの後悔が残ります。怠惰に流され、規律を欠いた日々がどれほどの時間を浪費させたのか。その事実が、大学生生活の終わりが近くにつれ、鮮明に浮かび上がりました。一方でそんな4年間の大学生生活は、多くの方々に支えていただきました。特にゼミの鈴木先生、教育支援課の佐々木さん、就職支援課の長谷川さん、そして親と兄弟と叔母のサポートに心より感謝いたします。時間は限られており、失った時間は戻らないという反省を胸に、私は1月から3月の末まで世界二周の旅に出る。新年度からは新たな生活を始めます。お世話になった方々の名に恥じぬように、目的のために、規律を重んじ努力し続けます。



大学での4年間を
振り返って

社会福祉学部 心理学科
淡路 凜音

私は4年間の大学生活でたくさんのことを経験し、充実した日々を過ごすことができました。

私は「いろいろな経験をすること」を大学生活のテーマに、様々な分野の講義を受けるのももちろん、短期の派遣などを含め計8個のアルバイトや2つのサークル活動、親元を離れての一人暮らし、15か所以上への旅行など、ここには書ききれないくらい多くのことを経験してきました。大学1年生の頃は新型コロナウイルスの影響で友人と会えなくなったり、孤独を感じたりすることがありましたが、それにより人となることが大切さを改めて感じる事ができたため、今では貴重な経験をしたと思うことができます。

こうして大学生活を振り返ると、本当にたくさんの方々を支えられていたのだなと感じます。ゼミ指導教員の眞嶋先生をはじめとした教職員の皆様、様々なことを教えていただいた先輩方、サークルの後輩たち、イベントや旅行に快く付き合ってくれた友人など、4年間で出会ったすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



小さな短大、
大きな成長

短期大学部 英文学科
小西 陽向

私が学生生活で一番印象に残っているのは、留学とオールイングリッシュの授業です。留学では、とにかく必死でした。言葉が通じない場所で、「自分」をどう表現するか、それはかなり考えていました。気づけば、伝わらない怖さより、伝えた気持ちの方が強くなっていました。その感覚は日本に帰ってから消えなくて、英語での授業が始まったとき、「あ、まだこの時間は続くんだ」って、なんだかホッとしました。授業では、自分の意見を英語で話す楽しさを覚ええました。ちよつとしたフレースで笑いが起きたり、うなずきが返ってきたり、それが嬉しくて、ブレゼンでもデイスカッションでも、いつの間にか前のめりになっていました。ですが、楽しいことばかりではないくて、一つだけ悲しいことがあります。それは、短大がなくなってしまうことです。この2年間、少人数のクラスで得た温かさや、目標に向かって一緒に頑張った仲間たちの存在、それらは全部特別なんです。もう一度ここに戻りたいと思える場所は、きっとそうそうない。短大がなくなってしまうのは寂しいですが、ここの思い出が私の中に残っている限り、消えないものがあると思います。一緒に過ごした仲間たち、そして私たちを支えてくださった先生方に心から感謝しています。

退職される教職員の方々からのメッセージ



学生は大学の宝です
経済学部 教授 濱 文章

1991年4月に専任講師として赴任して以来、特別専任の5年間を含めて33年の長きに亘って勤務できましたのは、ひとえに大学の居心地の良さ故だったと思います。着任するまでに抱いていた大学に対するイメージは堅苦しい学問の府という通り一遍のものでしたが、着任してそれはすぐになくなりました。学生が素直で、大人しいというのが理由でした。これは我々の世代とは理屈っぽくて扱い難いと言われていた世代の学生とは隔世の感があります。企業からすると物足りなさを感じると言われるような側面もないわけではありませんが、素直でおとなしくて真面目という北星カラーは今後もぜひ維持していったほうがいいと思います。これから世の中は次第に難しいことが増えて、社会に素直に順応するだけでは現状維持すら困難な時代がやってくるように感じています。素直でおとなしくて真面目でありながらもタフでもあるとなれば鬼に金棒だと思えます。したたかに生きる力をつけてほしいと願っています。

ゼミの卒業生は宝です。長い教員生活の中で、多くの学生に教えられることも多く、卒業後の仕事で学生に何度が助けてもらったことも多いです。こうした関係が築けたのも同じ大学に長く勤められたからこそだと思えます。長きに亘って無事に務められたことに感謝したいと思います。ありがとございました。



北星での30年を振り返って
経済学部 教授 原島 正衛

1994年から北星学園大学に勤務しましたのもう30年になります。1994・1995という年は、いい年だと思います。1994年の日本は、阪神淡路大震災、同年3月20日のオウム・サリン事件はその後の日本社会の在り方を変えたのではありませんか、と思います。

私はこの様な状況の日本で大学での生活を始めました。それ以前はベルギー・ブリュッセルの欧米系のコンサルタント企業で働いており、仕事上はいゆる日本のブル景気の恩恵に浴していました。欧州企業での「非日本企業社会の中で働いていました。同時に、日本の「バブル崩壊」を含む企業社会の「危機」も経験し、そうした危機に際しての当事者の行動様式が如何に「脆く時に汚いもの」であるかを嫌という程見てきました。そうした世界社会に嫌気がさして日本に戻ってきたという側面もありました。大学は、学問の世界は違つてあるうと思つていました。

北星での教員、研究者としての生活はある意味快適なものでした。多くの心優しい同僚教職員、友人に巡り合ひ、純粋な学生にも多く出会う事ができました。3期にわたる経済学部長としての経験、それ以前のこれも3期にわたる国際交流の責任者としての経験は忘れられないものです。これらの経験、環境を共に過ごして支えてくれた同僚教職員の皆さんには心より感謝します。

しかし同時に、大学、研究者の世界も思つていた程には「純粋」ではなく、「一言行一致」などはない社会でもありました。今から約10年前に、社会、大学、マスコミなどを巻き込んだ事件が起りました。私は当時、学部長、常任理事者として騒動の中心にあり、学園理事会は「北星民主主義」に基づいて当該講師を守ろうとしたが、学内論議の中で、当該講師を学内から排除する事が「正義」だとなり、「北星学園」が寄つて立てきたりバブル「一なるもの」と言つたのが崩壊を感じとりました。危機に対応すると言つたのは組織の問題であると同時に、人の性根という本質が問われるのだと思ひます。

今後の北星学園、大学が立ち向かう状況はおそらくより厳しいものだと思います。心ある構成員が、自らの良心と節操を守り、自ら求めて他者への説明責任を伴つて諸課題に対応する事が求められているのだと思ひます。学園の現役教職員の皆さん、頑張ってください。



『邂逅』
社会福祉学部 教授 田実 潔

24年前にご縁があつて北星学園大学に赴任し、今年度で退職することになりました。本学は、ボクが赴任する前から道内で特別支援教育教員を多く輩出しており、赴任時には当時の障書見教育担当者から、「田実つてだれ?大丈夫なの?」と心配を頂いていた、と後日伺いしました。大丈夫だったかどうかは定かではありませんが、なんとか退職まで多寡なくこぎつけたことがありました。それもこれも、諸先輩方や教職支援室、事務方の支えがあつたことで感謝しかありません、ありがとうございました。

赴任して4年目から卒業生の連携を当初の目的として『障書見教育夏季セミナー』を企画してきました。今年度20回のときを数えました。今は大学の地域貢献事業として卒業生が声みならず関係者が集まつてくれるセミナーとなりました。毎年、セミナー後は卒業生が声をかけてくれて、病気をしていたことや子どもが3人いること、学校でこんな仕事をしている等々報告をしてくれました。そのたびに、教える子達との出会いの幸運をかみしめていました。

大学では、教職だけでなく、コロナ禍まで男子バレー部の監督をしていました。監督を引き受けた頃は北海道リーグの4部でしたが、その後優秀な選手に恵まれて数年で1部まで昇格し、インカレにも出場したりしていました。一度2部に降格した後、再度1部との入れ替え戦に臨み秋リーグで、残念ながら1部昇格はならなかったのですが、ゲームの後には4年生達に「田実先生を1部の監督に就任したかった」と涙している姿に接して、教職だけでなく本当に人との出会いに恵まれた充実した北星生活であつたと感慨深く振り返っています。

しばらくは北星での日々懐かしみながら、神戸での次の出会いを楽しみにしたいと、自分自身を鼓舞しています。『学校Ⅱ』という映画(井かぜになりたい!最高!!)は、北海道の高等特別支援学校を舞台にしていて、北星の卒業生も関わっている映画です。これまで授業で何度も観てきましたが、卒業式で故西田敏行さん演じる先生が、「何もしてやれなかった」とすすり泣くシーンがあります。学生さん達との出会いには恵まれていたのですが、これほんまやなあ。



退職にあたって
I R 内部質保証課
桑原 大幸

1987年4月に採用され、今年3月まで定年退職いたします。採用後は、大学の学生課に配属されました。そこで6年間勤務した後、女子短期大学で23年間勤務をさせていただきました。その間、課外活動、奨学金、入学試験、就職、修学関係の他、管理系の業務を含め様々な業務を担当させていただきました。それぞれの部署でいろいろな思い出があります。特に課外活動を担当させていただいた頃は、学生と接する機会も多かったのですが、思えば深いものがあります。

同窓会の懇親会には、同窓生ではありませんが、各支部の懇親会を含め複数回出席させました。また、卒業したから10年、20年、30年と時が経つから出席された方もおり、皆さまだうなりました。懇談していただくのが思い出されます。同窓会におかれましては、コロナ禍を除けば、札幌だけではなく各支部でも懇親会を毎年開催されており、長年継続して同窓生が集う場を設けて活動されていることは大変良いことだと思いました。

最後にありがとうございました。卒業生の皆さまのこれからのご活躍と同窓生の皆さまのご活躍並びに同窓会のご発展をお祈りいたします。



35年+αに感謝

金画広報課

五十嵐 明

思いおこせは、1990年3月本学卒業と同時に入職して最初に着任した女子短期大学（当時）に約8年、大学に異動して23年、それから附属高校の3年間を経て、最後は大学でこの3月をもつて退職することになりました。

私にとつての思い出としては、様々な部局及び部署に配属となり多岐にわたる業務（会計・全般・教務・総務・総務、法人、企画、広報、人事、給与、研究支援、社会連携、管財等）に従事させていただいたことです。

おそらくではありませんが、学園内の職員では大学、短期大学、法人、高校すべての部局を経験した数少ない1人ではないかと思っています。

色々と苦勞もありましたが、周りの方々の支えがあつて、なんとか乗り切ることができました。様々な業務に携わることが出来き、人生の中で貴重な経験をさせていただいたことには大変感謝しております。

此度は諸事情により、定年より少し早く退職するになりましたが、数年後に迎える新学部の開設によつて北海道を牽引する総合私立大学としてさらなる発展を心からお祈りして陰ながら応援していきたいと思います。在職期間35年+ α （大学在学4年）の計39年間、大変お世話になりました。誠に有り難うございました。

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日で集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、本学への入金を確認されるまで通常1～2か月程度を要します)